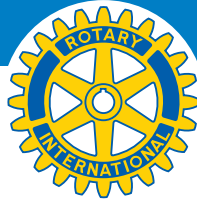


四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12：30～13：30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ令報

<http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/> e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821



世界に希望を生み出そう

2023-24年度R1テーマ
「世界に希望を生み出そう」

会長 松本 豊

副会長 和田 貴樹

幹事 森 志朗

第1162回例会 (2024年5月25日)

■点鐘 …松本 豊会長

■斉唱 …国歌斉唱・奉仕の理想

■ゲスト紹介



社会福祉法人 あおぞら共生会 内多勝康様

厚木市 市民福祉部 部長 遠藤 眞様

厚木市 健康こどもみらい部 部長 益子利彦様

■会長タイム



土曜日の貴重なお時間に我がクラブの公開例会にこの様にたくさんの皆様にご参集いただきまして誠にありがとうございます。つきましてはさきほど進行を務める会場監督より話がありました。講演前の少々、クラブの例

会を開催させていただきますので宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

ロータリーについて少しお話させていただきます。ロータリーは国際ロータリーの認証を得た、世界に約3万7千のクラブと120万人近い会員がおり、日本国内にも約2250のクラブと8万5千人近い会員を有する奉仕団体です。4つのテストやロータリーソングは、企業で例えれば社訓や社歌としてご理解いただければ分かりやすいかと思えます。各クラブは独立して運営されており例会の内容も様々です。我がクラブでは年に1回クラブの例会や活動を一般の方に広く認知していただく為に、公開例会を開催しております。

その内容はセレモニー以外はその年度により、本日の様な講演会だったり、ミニイベント、或いはミニコンサートだったりとの会長の思いを反映する催しを例会行事として開催し皆様と時間を共有しております。ロータリーの年度は7月から翌年の6月までで私の会長としての任期もあと1か月となりますが、最大のイベントとして本日の公開例会を迎える事となりました。

今年度の公開例会は、元NHKアナウンサーで現在は(社)あおぞら共生会に勤務されている内多勝康様をお迎えし、「重い病気や障害があっても安心できるインクルーシブな社会へ」を演題に講演会を企画いたしました。我々ロータリーも近年DEIを活動の規範として掲げており、その一つであるインクルーシブな社会を皆様と共に考える機会として講演をお願いいたしました。大変内容も重い難しい部分も多い演題ですが今日は内多様が分かり易く、現状や課題、問題等についてお話いただけます。

また内多様は52歳でNHKを退職され、国立成育医療研究センター「もみじの家」ハウスマネージャーに転職され、今年の3月定年により退職されましたが、現在も同施

設のシニアアドバイザーを務められております。なぜ安定したNHKを早期退職されてまで医療福祉の場に転職されたのかその理由や、昨年9月我がクラブと共催した「第1回ウルトラユニバーサル野球大会」についてもお話いただきます。そして講演会の最後に質疑の時間もたっぷりとなっておりますので、是非皆さん積極的に質問を投げかけてください。

最後に私は本日の講演が実りのある素晴らしい内容となる事を確信しておりますが、大きな課題や現状を知る事にもなると思います。それが皆さんにとって有益なお時間となる事を期待してご挨拶を兼ねた会長タイムとさせていただきます。

■第21回 公開例会「重い病気や障害があっても安心できるインクルーシブな社会へ」

担当：松本 豊会長

講師：社会福祉法人 あおぞら共生会 内多勝康様

本日は今年度の公開例会となります。内容は元NHKアナウンサーで今年3月まで国立成育医療研究センター「もみじの家」ハウスマネージャーを務められていた内多勝康様の講演会です。「重い病気や障害があっても安心できるインクルーシブな社会へ」を演題に医療的ケアが必要な子供達やその家族の現状や苦悩、課題そして法整備や行政の取組について分かり易くお話いただきます。また5歳でNHKのアナウンサーから医療介護の世界に転身された過程や、昨年9月我がクラブと共催した「第1回ウルトラユニバーサル野球大会」についても来場される一般の方にアピールしていただき、我がクラブの日頃の活動についても織り込んでいただきました。

Rotary 厚木県央ロータリークラブ 第21回 公開例会

「重い病気や障害があっても
安心できるインクルーシブな社会へ」
講師：社会福祉法人あおぞら共生会 内多 勝康 氏
(元 NHK アナウンサー)

医療的ケア児と家族の置かれている現状や課題について講演を頂きます。また昨年9月にリモートの講演で重慶の障がい者を対象に開催したウルトラユニバーサル野球大会についてもお話しいたします。

●開催日 令和6年5月25日(土)
●開会点鐘 14:00
●講演 14:30～
●会場 厚木商工会議所5階501号室(大会議室)
神奈川県厚木市栄町1-16-15
※会場には駐車場が限られているので公共交通機関をご利用ください。
●定員 先着100名
●お問合せ 厚木県央ロータリークラブ (<https://ken-ou-rotary.gr.jp/>)

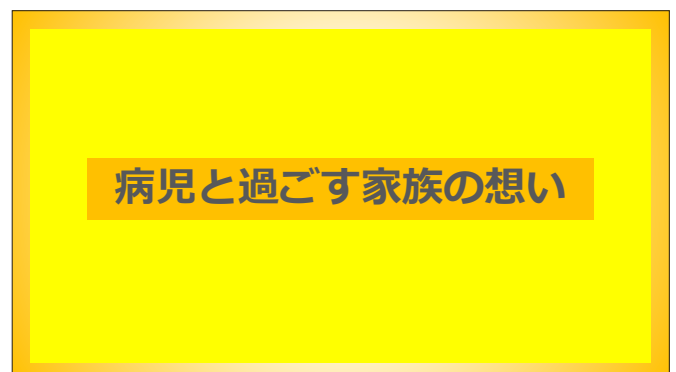
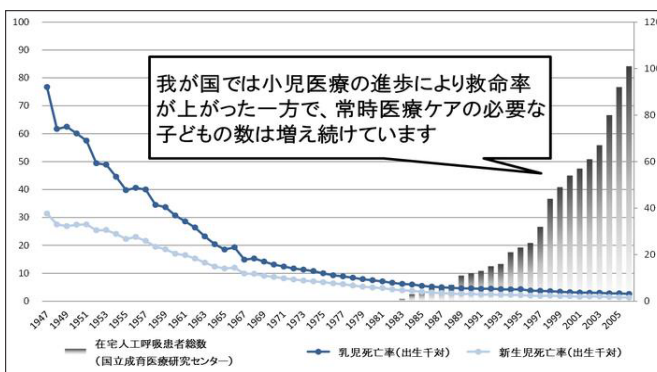
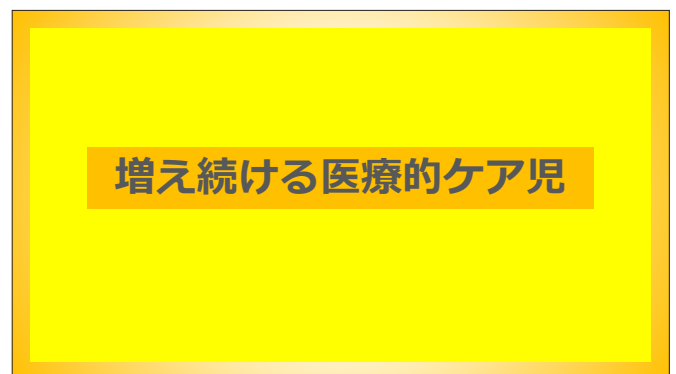
入場無料

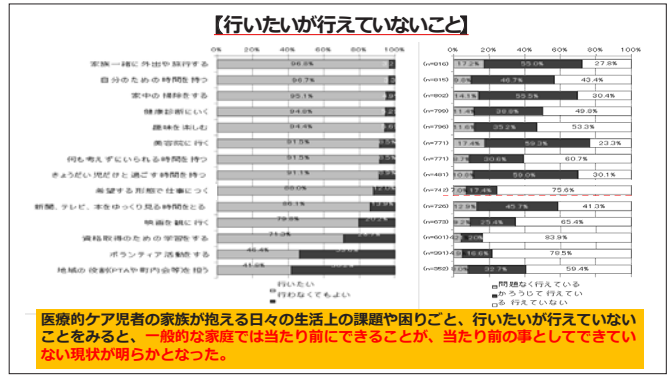
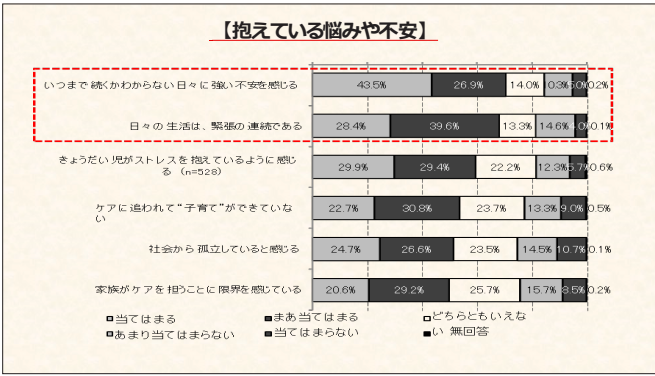
お申込みはこちらから

主催 厚木県央ロータリークラブ 後援 厚木市教育委員会

ソーシャル
アクション

※誰もが暮らしやすい(活躍できる)社会を実現するため、目の前にある困りごとを抱えた人への個別支援だけではなく、その人の困りごとを生み出している社会構造そのものへ働きかけること
⇒ **社会福祉士(ソーシャルワーカー)に求められる活動**





医療的ケア児者の家族が抱える日々の生活上の課題や困りごと、行いたいが行えていないことをみると、一般的な家庭では当たり前に行えることが、当たり前的事としてできていない現状が明らかとなった。

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律 (医療的ケア児支援法)

2021. 6. 11 成立
9. 18 施行

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律

第一章 総則

(目的)

第一条 この法律は、医療技術の進歩に伴い医療的ケア児が増加するとともにその実態が多様化し、医療的ケア児及びその家族が個々の医療的ケア児の心身の状況等にに応じた適切な支援を受けられるようにすることが重要な課題となっていることに鑑み、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関し、基本理念を定め、国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、保育及び教育の拡充に係る施策その他必要な施策並びに医療的ケア児支援センターの指定等について定めることにより、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職の防止に資し、もって安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与することを目的とする。

2022年3月27日誕生

全国医療的ケアライン

<愛称>
アイライン

i-Line

すべての人に野球の楽しさを！

第1回 ウルトラユニバーサル野球大会

両翼5mの巨大な野球盤を舞台に、医療的ケアや重い障害のある人たちが野球の試合に臨む。選手たちは目の動きや指先の操作などで自宅のパソコンからバットを振る信号を送り、リモートで試合に参加する。この大会で活躍する選手を通じ、テクノロジーの進化によって障害という障壁を超えて野球を楽しむことが可能になったことや、重い病氣や障害があっても自らの意思を表現し、コミュニケーションや社会生活を豊かにできる新しい時代が到来したことを社会に発信する。

試合開始：2023年9月3日(日) 13:30
YouTubeでライブ配信します！

https://youtube.com/live/X23M18TZ1M?feature=share

※同じURLでアーカイブ配信もします！

主催：厚木県央ロータリークラブ
国立成育医療研究センターもみじの家
協力：堀江車輛電設株式会社
島根大学総合理工学部 伊藤史人氏
熊本高等専門学校 特命教授 福島勇氏

問合せ：もみじの家 内多
uchida-ka@mchcd.go.jp

実行は、あの元NHKアナ！

2つのソーシャルアクションが融合

ユニバーサル野球

視線入力装置

ウルトラユニバーサル野球が誕生

重い病氣や障害があっても安心して暮らせる

インクルーシブ社会実現のためにソーシャルアクションを！





■ 四つのテスト



石井 卓君

■ ソングリーダー



関原敏文君

■ 総合司会



松澤修身 SAA



■ 出席報告 <会員 39 名、出席対象 37 名>

5月25日例会 出席 26名 欠席 12名 出席率 70.27%

事前メイク :

佐藤拓也君(2月14日/厚木中RC)

